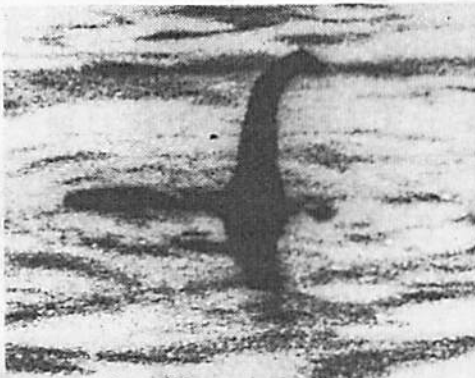


ネッシー 正体は巨大ウナギ?



国際チーム 水中のDNA残留物を分析

【ロンドン共同】怪獣ネッシーが生息するとの伝説がある英北部スコットランドのネス湖で、DNA残留物の分析を続けてきたニュージーランドなどの国際研究チームは、ネッシーの生息を示す証拠はなく、正体は「巨大なウナギ」の可能性があると仮説を発表した。BBC放送などが伝えた。

長い首を出した恐竜のような写真が有名だが、捏造だったと既に暴露されている。研究チームも「こうした首長竜のような生物の生息を示す証拠は見つからなかった」と説明している。

遺伝子分析技術の進歩で、水中に残る微量な皮膚や排泄物などに含まれるDNAから、池や湖にどのような生物が生息しているかを調べることが可能になった。研究チームはネス湖の水からDNAを抽出、既存生物の膨大な遺伝子情報のデータと照合し、正体不明の生物が存在するか否かを調査してきた。ネッシーにはさまざまな目撃情報があり、衛星や音波探知機などを使った搜索が展開されてきたが正体は判明していない。

ネッシーを撮影したとされたが捏造と分かった写真 (AP共同)

2019.9.9 神戸新聞夕刊

私達世代には懐しい、ある意味馬鹿げた作り話のような、でも、学術的には という話です。こんな話にロマンがあった旧き良き時代でしたね。